



▲多くの意見が出されたワークショップ

■ワークショップで出された意見（一部抜粋）

テ ー マ	意 見
①留萌に魅力を感じるか。魅力を高めるために何が必要でどう変わっていくべきか	■留萌に魅力を感じるところ ・漁業が盛ん／海（カニ釣り）／海産物が豊富／夕陽や景色がきれい／海の幸、山の幸が豊富／犯罪が少なく安心なマチ／地域の方が優しい。明るく挨拶したり、話し掛けたりしてくれる ■魅力を高めるために何が必要か ・買い物を楽しめる施設、遊具（遊具場）／宿泊施設／市民にもっと留萌のことを知ってもらう／冬のイベントを増やしてほしい／通学時のバスが混むので本数を増やしてほしい／黄金岬の駐車場の整備／小中学校、高校を通じて上級生が下級生を教えられる「学びの場」をつくと良い
②今、学校で課題になっていること	・スマートフォンを持っている人と持っていない人との間に距離ができています ・生徒同士はフレンドリーだが学力の低下が著しい ・留萌高校と千望高校の統合への不安 ・大人同士の議論が進んでいるが、実際にそこで学ぶ生徒たちで話し合う場がほしい ・統合により今まで続いている地域との交流はどうなるのか ・高校の統廃合で規模立地、制服、年間行事の継続などに不安がある ・生徒が在学中に2回の閉校を体験しないようにと、配慮してくれたのは分かっているが、母校がなくなるという残念さは感じる
③市内の公共施設について（市役所、公民館、スポーツセンター、温水プール等）	・温水プールぶるも冬にも使えるようにしてほしい ・ぶるもの利用期間を（今よりも）長くしてほしい ・夏期間の開放でよい。そのかわりPRをしっかり行い期間中の利用増を促すことが大切 ・公共施設にWi-Fiがあれば利用しやすい ・公共施設の利用案内をホームページも含めてわかりやすく公開してほしい ・公共施設と商業施設が複合したものがあればと思う

■市議会への質問（一部抜粋）

質 問	答 弁
大人は、留萌に対して魅力を感じる場所はどこだと思うか	やはり、大人も自然の豊かな黄金岬などが一番だと思う。今日いただいた意見など、大人も子どもも思っていることは同じだが、どうやって生かすかが課題。議会でしっかり議論して、皆さんに返したいと思う。
旧幌糠小学校の体育館の有効活用は現時点で可能か	旧幌糠小中学校の利活用は現在、6次産業化に力を入れており、特産品などが作られている。また、教室の整備もされているが、体育館の利活用はされていないので、貴重な意見として受け止め、常任委員会で話し合っていきたい。
北光中学校は、閉校後どのように利活用されるのか教えてほしい	北光中学校の閉校後の利活用について議会としては、正式な審議はしていないが、人材開発センター（パワスポ）と市が協議をしている段階で決定していない。利活用するとしたら、金額など条件について協議している。

※皆さんからいただいたご意見は議会運営委員会で協議し、担当する各常任委員会において議論しています。

■参加いただいた生徒の皆さん（敬称略）

グループ	氏 名（学校・学年）
A	中原優希（留萌高校2年生）、高橋文香（留萌千望高校2年生）、山本花凜（留萌中学校3年生）、新谷佳己（港南中学校3年生）
B	佐藤孝紀（留萌高校2年生）、小笠原舞（留萌千望高校2年生）、関 瑞穂（北光中学校2年生）、久保和貴（留萌中学校3年生）
C	石田美希（留萌高校2年生）、檜森夢佳（留萌千望高校3年生）、中島沙知（北光中学校3年生）、田中風花（港南中学校3年生）
D	入谷 龍（留萌高校2年生）、川那邊遙弥（留萌千望高校2年生）、野口真希（留萌中学校2年生）、亀谷涼太（港南中学校3年生）

留萌市議会だより

第 126 号

議会です
こんにちは

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700

URL：http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html

E-mail：rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記の QR コードからも
留萌市議会のホームペー
ジにアクセスできます。

主な内容

- P 8～P 9 ・【特集】留萌市市制施行 70 年特別企画「中学・高校生との意見交換会」を開催しました！
- P10 ・各常任委員会からの報告
- ・森林・林業・林産業活性化推進議員連盟からの報告
- P11～P13 ・第3回定例会一般質問項目
- P14 ・決算審査特別委員会からの報告
- P15 ・こんなことが決まりました
- ・各組協議会からの報告…………… ほか

▼一日議会体験に参加した市内中学校・高校の生徒たち



「中学・高校生との意見交換会」を
開催しました！

留萌市市制施行70年特別企画

昨年6月、公職選挙法の改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、その1票が地域社会を変えることができるようになりました。

留萌市議会では、留萌市市制施行70年特別企画として、8月

9日、「中学・高校生との意見交換会」を学生を対象に初めて開催しました。

議会との意見交換を通して、若い世代にも自分たちが暮らすマチにもっと関心を持ち、故郷留萌の未来を考えるきっかけになればとの想いから企画し、市内3中学校、2高校から生徒16人が参加

生徒たちが
議会を体験

意見交換会は、議員を交えた4つのグループに分かれ、テーマに沿ったワークショップと議場のグループ代表の発表、参加生徒から議会への質問の3構成で行われ、議場の演壇で発表し「一問一答」に答えるなど本番さながらに議場の雰囲気を感じました。

参加いただいた学校関係者、生徒の皆さんにお礼を述べるとともに、この度の意見交換会でいただいたご意見は、議会運営委員会で協議し、担当する各常任委員会において議論しています。

第1 常任委員会からの報告

■留萌市職員数計画と採用
留萌市では、退職者の増加や採用辞退により、必要な職員数を下回っており、平成26年3月に定員適正化計画を策定しました。委員会では「人口が減る中で職員増の必要性」「市内に居住していない市役所職員」などについて意見がありました。

29年4月現在の一般会計職員数は182人

人定員適正化計画188人を下回っているため、職員の確保が今後必要とされます。

■インバウンド受入環境整備事業
留萌を訪れる外国人観光客などの満足度向上に向け、市内の観光施設や商店街に設置したフリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）は、言語の選択と性別、生年月日の入力のみでインターネットの接続ができます。これにより商店街エリアの交流人口増加や外国人観光客の消費需要拡大のための環境整備が進められ、まちなかの賑わいの創出と商店街の活性化が期待されます。



▲公共施設設置のWi-Fi

第2 常任委員会からの報告

■留萌市立病院病床削減
留萌市立病院より病床数を「300床」から「200床」に改める条例を一部改正する報告を受け、第3回定例会において可決しました。

内訳は、透析治療の可能性がある患者数の増加に伴って人口透析のベッドを拡張するにあたり、病室2床を更衣室に転用。また、休止していた一般病床52床を削除することとしたものです。

■入院患者アンケート
入院患者とその家族に対して、アンケート調査を5月30日から1週間実施し、職員のあ

いさつや言葉づかい、話しかけやすさ、ナースコールの対応など病院職員の対応と病院施設・設備などについてなどの設問に83枚の回答がありました。

病院全体の満足度は「満足」「やや満足」は「満足」を合わせて、97.5%となり、患者に一定程度の満足の評価をいただいた報告を受けました。

森林・林業・林産業活性化推進議員連盟からの報告



▲林活議員ら12人で下川町を視察

■木質バイオ先進地「下川町」を視察
下川町では、森林林業をまちづくりの土台に据えています。

近年、木質バイオ施策を積極的に取り入れたマチづくりを進めている事例を視察するため、7月27日、議員10人、農林水産課主査（林務）、事務局1人の12人で訪町しました。視察の受け入れは、下川町観光協会が担当し、一連の説明を受けました。

全国から訪れる視察団の受け入れも町の事業として施策化されていることに感心しました。

冒頭、役場職員から「環境未来都市『下川町』」の概要説明を受け、昭和28年に町財政が1億円程度のとき、8800万



▲木質バイオマスボイラーを見学する議員

円を投じて国有林を購入することから始まる森林・林業・林産業振興にかけたマチづくりの経緯などの説明を受けました。

その後、木質チップを燃料とする木質バイオマスボイラー11基により30施設に熱を供給し、周辺の施設と一の橋地域で「一の橋バイオビレッジ構想」として機能している「エネルギー自給型集住化エリア整備による集落の再生」を視察しました。

木質バイオへの転換に際しては、既存燃油関係者の参画を進めて経済の地域内循環を重視していることや「地域おこし協力隊」の導入による多彩な企画など、学ぶことの多い視察となりました。

平成29年第3回定例会

一般質問と答弁

坂本 茂
無会派

■質問 観光の持続的発展を図るために
黄金岬の老朽化した市の施設の改修。礼受の国指定重要有形民俗文化財「留萌の鯨漁撈（旧佐賀家漁場）用具」、国指定史跡「旧佐賀家漁場」の保存を兼ねた展示施設の整備計画（案）の具体化。観光に対する市民感情の醸成について伺う。

■答弁 財政の厳しさから観光施設補修の予算措置ができなかったが、地元や協会の意見を聞きながら取り組んでいく。国指定重要有形民俗文化財、国指定史跡については、適切に維持保存しながら郷土の学習資源、留萌市の観光という視点で策定済み整備計画の再検討を進めていく。観光客へのおもてなしの気持ちの醸成を機会あるごとに話していく。

■質問 樺太引揚げ三船殉難事件について
留萌市史における位置付け、関連する資料の収集と閲覧、事件を後世に語り継ぐことについて伺う。

■答弁 戦争終結の中での事件として重く受けとめ留萌市史にも掲載。資料の収集と閲覧は今後も進め、事件当時市民が総力支援したことを含め、次の世代に



▲三船殉難事件の悲劇を後世に伝える「平和の碑」

小野 敏雄
芽クラブ

■質問 JR留萌線について
JR留萌線、留萌・増毛間の廃線に伴う事後処理の進捗状況と今後の留萌線の路線見直しをどのようなスケジュールや方法で民意をくみ取り、連携を進めて最終判断を下すのかを伺う。

■答弁 留鉄道施設の調査は2月までに終了し今後の利活用を考えたい。

また、路線の見直しについては、町内会長会議や市長のフリートークなどを通じて市民の意見を集めている。8月には沿線自治体2市2町の事務レベルでの意見交換会にも参加した。これらを継続しながら持続可能な公共交通のあり方を市民の声を伺いながら判断したい。



▲厚生労働省の「受動喫煙のない社会を目指して」ロゴマーク

坂本 守正
民進党

■質問 受動喫煙防止対策について
たばこの副流煙を自分の意思とは関係なく吸い込む受動喫煙を防止する対策について現状と今後の方向性を伺う。

■答弁 今後は国による実効性ある対策が進められる中で地域の実情にあった対策を進めたい。

■質問 教職員の超勤・多忙化対策
「教職員の給与等に関する特別措置法」に基づき「給料月額額の4%に相当する『教職調整額』を支給することによって時間外および休日勤務手当を支給しない」となっており、長時間労働が一向に改善されない要因であり、どのような実効性ある超過勤務削減策を講じるのか。

■答弁 平成22年度から内容を見直し、継続的・反復的に取り組み、一定の効果はあった。教職員に求められる役割が増大していることなどが長時間勤務が改善しない一因であり、改善策に限界があると



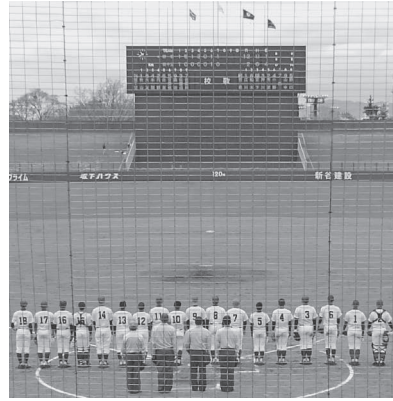
▲オレンジハウスの利活用や交通安全対策が課題となっている黄金岬

米倉 靖夫
無会派

■質問 市外の生徒の受け入れに向けて
留萌高校と千望高校の合併に伴い平成30年度から留萌唯一の高校となり、市外からの生徒獲得の取り組みが必要である。

市内には下宿など宿泊施設が不足しているため、練習場と宿泊施設の一体的な施設が必要である。また、部活が強くな

ると知名度アップにつながり、生徒の獲得につながる。それを協力するのが留萌市だと思う。野球部が強くなることで子どもたちだけではなく、大人にも夢と感動を与える。自治体も一丸となった取り組みは、市の知名度アップに繋がると考える。衰退していく町の起爆剤として市民一丸となって盛り上げられたら素晴らしいと思う。子どもたちと市民の夢、留萌が誇れるものそれらを叶え、背中を押すのが留萌市だと考えるがいかがか。



▲留萌高校野球部の試合

〔答弁〕市が宿泊施設を作るのは難しい。両校の歴史や伝統に配慮した学校づくりが進められていると聞いているので、部活動も含めて活気に満ちた歴史を築いていくことを期待している。



〔質問〕平成30年度骨格予算について
来年3月9日の任期満了に伴う市長選を控え、来年度予算は人件費など義務的

経費を中心にした骨格予算が組まれると考えるが、普通では考え難いハコモノ事業費が組み込まれていることに対して、留萌市の考えをお聞きたい。

〔答弁〕予算編成にあたっては議会での議論がなされ、予算の優先度、市民に対しての必要性などを判断し、議会の了承を得て予算化していると理解願いたい。

〔質問〕JR留萌線に対する市長の責任と今後の対応について

8月21日に深川市や深川商工会議所との懇談会が行われたが、留萌市からは市長をはじめ誰も参加していない。沿線自治体としての責任や今後の対応をどう考えているのかお聞きたい。



▲乗降客を待つタクシー

〔答弁〕留萌市としての姿勢を判断していない中で、路線続行を確認する懇談会に参加する段階ではないと見合わせた。

また、国の恩恵を受けることができない中で、もう一度公共交通のあり方について議論する必要があると考えている。



〔質問〕通学路の安全対策について

留萌市通学路安全推進協議会が策定している留萌市通学路交通安全プログラムの進捗状況はどうか。

スクールゾーンの標識が色あせてドライバーからは見えにくい状態になっている。点検し整備していく必要があると考えるがどうか。



▲市内の通学路2カ所に設置された注意標識

〔答弁〕通学路交通安全プログラムはPDC Aサイクルで引き続き推進する。

標識は合同点検時に維持管理状態を確認し、関係機関で対策を協議していく。

〔質問〕黄金岬浜公園の整備について
この夏のイソガニの資源保護の啓発について、また、古くなったトイレ施設の改修や黄金岬浜公園の観光施設の配置図などを整備する考えはあるか。

6月入港の豪華客船「飛鳥II」の歓迎事業は約207万円で実施されたが市民76名の見学会参加以上の効果があったか。

〔答弁〕事業の成果、具体的な金額などは把握していないが、一定の経済効果はあったと考える。

〔質問〕留萌の観光事業から
留萌の観光は年間170日程の事業だが、観光産業確立には通年の事業展開が必用ではないか。



▲黄金岬のにぎわい(昭和45年頃)

〔答弁〕観光産業の直接的な観光業者が少ない留萌で観光による効果を把握するのは難しいが、観光客が訪れることで経済効果は一定程度期待できる。インバウンドの状況を踏まえて対応したい。



〔質問〕子ども・子育て支援事業
平成27年度策定の子ども・子育て支援

〔答弁〕資源保護に関するポスターを作成、黄金岬観光協会に配布し啓発した。トイレのリニューアルの必要性は理解しつつ、来訪者の安全対策を最優先とし、指定管理者と協議しながら進める。



〔質問〕観光を基軸としたまちづくり

観光を基軸としたまちづくりを行うことにより、観光産業が市の基幹産業になりえると考え。観光地経営を行う組織として注目されている日本版DMOの必要性について市長の見解を伺いたい。

〔答弁〕観光産業が、留萌において直ぐに基幹産業になることは難しいが、管内の自治体や観光協会、運輸業界や金融業界で組織される西蝦夷再興協議会に参画し、この地域でふさわしいDMOのあり方について研究したい。

〔質問〕産業遺産を活用したまちづくり
国指定の文化財であるニシン漁労用具や旧佐賀家漁場の歴史的資源を活用した観光まちづくりに関し、日本遺産などの事業の検討について、教育長の見解を伺いたい。

〔答弁〕旧佐賀家漁場やニシン漁労用具は適切に維持・保全しながら学習資源として活用を図り、今後は平成18年に策定した整備計画の見直し作業を進める。日本遺産については、道内で認定を受けて

いる江差町から情報収集を行い、調査研究を進めていきたい。



▲旧佐賀家漁場を空から望む



〔質問〕これからの留萌港について
留萌港での新たな取扱い貨物の可能性はあるか。留萌港における整備の課題、今後の整備計画、国土交通省が行う「みなとオアシス」へ登録する意向はあるか。



▲空から見た留萌港

〔答弁〕平成31年に高規格幹線深川・留萌自動車道が全面開通することから、留萌

事業の103事業の事業実績評価について、担当所管の自己評価だけではなく、第三者評価、受益者評価が必要。今後の評価の考え方を伺いたい。地域が育てる公園づくり事業として、公園に設置されている遊具が一目で分かる「公園マップ」を作成してはどうか。

病児保育事業が、一向に進まない。留萌市立病院とは、どのような協議を行ってきたのか伺いたい。



▲市ホームページに掲載予定の公園

〔答弁〕事業実績評価のあり方については、子育て支援施策の推進に向けた適切な点検・評価となるよう、評価手法について次回の市子ども・子育て会議に合わせて検討したい。公園施設の改築および更新に合わせて市ホームページに公園マップを作成し、適宜更新を行っていく。

病児保育事業は、保育室の設置や看護師などの人員確保が難しいが、留萌市立病院内での実施の可能性について協議を進めていく。

平成29年 第3回定例会
9月5日～20日

ほか4件 …………… 原案可決